

令和8年4月1日

令和8年度 上尾市立尾山台小学校 学校経営方針

校長 赤羽 洋治

1 教育の基本理念

<キャッチフレーズ>

「チャンス！チャレンジ！チェンジ！」

2 学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童」

～明るい子 考える子 たくましい子～

(1) 目指す児童像

- | | |
|----------|------------------------------|
| ア 明るい子 | すすんであいさつする子、 相手を思いやる子 |
| イ 考える子 | 自ら考え行動する子 、仲間と共に学ぶ子 |
| ウ たくましい子 | 健康的な生活を送る子 、最後までやりぬく子 |

(2) 目指す学校像

「児童・保護者・地域が、生きる喜び（※）を得られる学校」

※「伸びる喜び」「育てる喜び」「見守る喜び」

～ 伝統を生かし、**地域が挙って教育**を創造する ～

- | | |
|---|-----------------------------|
| ア | たくさんの成功体験で児童を笑顔にする学校 |
| イ | 保護者や地域と共に歩む学校 |
| ウ | 安全で安心できる教育環境を確保する学校 |

(3) 目指す教師像

「教育への情熱とチャレンジ精神に満ちた教師」

～自己研鑽に**励み**、アップデートする～

- | | |
|---|------------------------------|
| ア | 笑顔を絶やさず、公平で知性的な教師 |
| イ | 常に寄り添い、児童の成長をあきらめない教師 |
| ウ | 力を合わせ、魅力ある教育活動を実践する教師 |

3 学校経営の基本方針

- (1) 尾山台小児童は、地区の「未来を担う宝」であるとの共通認識で、**学校（小・中）・家庭・地域が三位一体**となって教育活動＜育てる・見守る＞を推進する。学校は積極的な情報発信で、P T A・学校応援団をはじめ、幼保・中及び関係諸機関との連携に努める（小中一貫教育、地域連携教育）。
- (2) 児童の「できた」「わかった」を創出し、学校で「自分は成長している＜伸びる＞」ことを実感できるようにすることで、自立の基礎を培う（個別最適な学び）。また、チーム・集団での活動を通し、**仲間と協力して学習することの良さ**を実感することで、他者と関わり合いながら生活することの意義を培う（協働的な学び）。
- (3) 教職員は**教育への使命を自覚し「学び続ける」**ことで自己及び組織の力を向上＜伸びる＞させ、児童の知・徳・体のバランスの取れた育成＜育てる・見守る＞に努める（教師力向上）。また、自身及び近親者の健康が魅力ある教育を創る上で重要であることを常に意識し、**望ましいワークライフバランス**に近付けるよう創意工夫を行う（働き方改革）。

4 本年度の重点

(1) 確かな学力の育成

- ①「期待感」「安心感」「緊張感」「達成感」があり、児童「全員」が意欲的に参加できる授業の工夫（授業力向上）
- ②学習規律の定着による学習効果の向上（学習ルールの定着）※ 趣意説明の大切さ
- ③専科・一部教科担任制、ティームティーチング・コース別学習の導入による教材研究の深化ときめ細やかな指導（専門性の発揮）
- ④家庭学習内容の精選＜学習時間目安30分以上＞と宿題の確実な提出習慣（家庭学習の習慣）
- ⑤「上尾市英語力向上プラン」に則った英語教育の実践（グローバル教育）
 - ・A L Tの活用
 - ・E n g l i s h C a f é（英語で遊ぼう）
 - ・G E Tスピーチタイム
- ⑥I C T端末、学習eポータル・授業支援クラウドの適時適切な活用による授業効率の向上（アナログ教材とデジタル教材のベストミックス）
- ⑦単元内自由進度学習の継続による、自ら学ぶ意欲と見通し立てて学習する能力の育成（学ぶ喜び）
- ⑧各種学力調査及び単元テスト結果の検証による授業改善と重点支援（焦点化）

(2) 豊かな心の育成

- ①「上尾市いじめの防止等のための基本的な方針」に則ったいじめ未然防止と見逃しゼロ
(いじめ対策)
- ②褒める教育「スクールワイドPBS (ポジティブ ビヘイビア サポート)」による児童へのより良い行動支援 (積極的生徒指導、生活ルールの定着) ※ 隠れ指示の有効活用
- ③異学年交流「GETタイム」「GETフェスティバル」を通じた年齢・発達過程に応じた役割自覚 (相互理解、自己有用感)
- ④「よむよむタイム」「読み聞かせ」「いつでも読書 (チョイ読)」を通じた読書が好きな児童の育成 (読書活動) ※ 図書の日常携帯の励行
- ⑤芸術教育・道徳教育・特別活動の充実によるメリハリ・変化のある教育の創造 (創造・想像教育)

(3) 健やかな体の育成

- ①体育授業における運動量の確保と楽しい学習活動の両立 (体育授業の工夫)
- ②青空タイムを活用した体力づくりの推進 (体力・技能向上)
 - ・RunRunタイム (5分間走) ・縄跳び検定 ・大縄大会 ・ドッジボール大会
 - ・全校鬼ごっこ ・逆上がり教室 ・跳び箱教室 ・縄跳び教室
- ③栄養士と共同した給食指導の実施 (食育、食物アレルギー対応)
- ④交通安全教室や各種避難訓練実施による交通事故防止・防犯・防災教育の充実 (安心・安全)
- ⑤手洗い・うがいと季節に応じた基本的な感染防止対策の励行 (保健衛生)
- ⑥専門家招聘による各種教室・講座の開催 (専門職の活用)
 - ・歯みがき教室 ・目の健康講座 ・心肺蘇生法教室 ・薬物乱用防止教室
 - ・おなか元気教室 ・がん教育 ・クリーンアップ教室

(4) 自立する力の育成

- ①規律ある態度「12の達成目標」に係る指導の充実 (規律ある態度)
<重点>あいさつ、整理整頓、清掃、話す・聞く
- ②登下校中の児童あいさつ活動の充実による地域社会の一員である自覚の醸成 (地域社会一員としての意識)
- ③整頓タイム・清掃時間における正しい方法の習得とプラス1意識の醸成 (環境意識と自己開拓)
- ④「聞く」ルールの徹底と「発表する」経験、並びに「考える」習慣で自己変容の促進 (成長サイクル)
- ⑤キャリアパスポートの活用によるキャリア教育の推進 (将来への展望)

(5) 多様なニーズに対応した教育の推進

- ①「上尾市不登校対策基本方針」に基づいた、不登校の未然防止・早期発見・早期対応及び不登校を生まない魅力ある学校・学級づくり（不登校対策）
- ②特別支援を要する児童への適切な支援方法の共有・実践と交流学习を通じたインクルーシブ教育の推進（特別支援教育）
- ③学校内教育相談体制の充実とさわやか相談室相談員・スクールカウンセラー・教育センター等関係諸機関との密な連携（教育相談）

(6) 新しい時代の学びにふさわしい教育環境づくりの推進

- ①自己評価シートの活用や校内研修の充実による教職員の資質・能力の向上（研究と修養）
- ②倫理確立委員会や適時情報提供・指導による教職員の不祥事根絶（教職員事故防止）
- ③学校運営協議会での熟議を通じた、学校・家庭・地域が三位一体となった教育の推進（コミュニティスクール）
- ④教職員の時間外在校等時間の縮減と学校における働き方改革の推進（教職員のワークライフバランス と 児童・保護者と関わる時間の確保）
- ⑤学校安全体制の整備と定期的な施設等点検による安全な教育環境の構築（安全な学校）

(7) 家庭・地域と連携・協働した教育の推進

- ①学校及び学校運営協議会から家庭・地域・関係諸団体への情報発信と協力依頼（地域連携）
 - ・身近な学校
 - ・気軽に足を運べる学校
 - ・あいさつを通して、関わり合える学校
 - ・児童の頑張りから、元気をもらえる学校→家庭・地域「見守り活動」の充実
- ②関係諸団体との密な情報共有と役割分担を明確にした負担感の無い協働推進（継続推進）

※「生きる喜び<育てる喜び><見守る喜び>」の共有と継続